平成２９年度高教研英語部会全県大会「英語表現Ⅱ」学習指導案

秋田県立本荘高等学校
教諭　畠　山　圭　亮
ALT　Alexander Lobl

１　日　時　　平成２９年１０月１８日（水）　１０：３０～１１：２０

２　学　級　　２学年　普通科　AB 組（４２名）

３　生徒観　　男子１５名、女子２７名。９月から習熟度別クラスになり、最近新しいメンバーにも慣れてきた様子である。ペアワークやグループワークに協力して取り組む姿勢が見られる。英語に対する興味関心が高い生徒が多いが、授業中に積極的に質問や発言をするのが苦手な生徒が多い。一方、テーマを与えて英作文を書かせると、語彙を豊富に用いて、自分の考えを論理的に表現できる生徒もいる。

４　教　材　　教科書　Vision Quest English Expression Ⅱ（啓林館）
単元名　Lesson11　動詞の形を決める④　世界遺産の魅力

５　単元の目標　（１）動詞の形が「時制」「人称」「態」に加えて「法」によっても変化することを理解する。
（２）仮定法過去、仮定法過去完了の形式、用法について理解する。
（３）仮定法を用いて自分のやりたいことや仮想の話等を英語で表現することができるようにする。

６　指導計画

指導内容	配当時間
仮定法の様々な形式や用法を理解する。 問題演習を通じて仮定法を用いた英語表現の基礎を養う。	３時間
仮定法を用いて自分の願望を英語で表現する。 仮定法を用いて仮想の話や、面白い話を創作し英語表現の楽しさを体験する。	２時間 （本時５時間目）

７　本時の目標及び評価規準
（１）　目標 仮定法の用法を踏まえた上で、自分で考えた仮想の話や面白い話を英語で正確に表現することができる。
（２）　評価規準

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
ペアやグループ活動において積極的に活動に参加し、自分の考えを伝えようとしている。	単元の内容を理解し、自分で考えた話を適切に英語で表現できる。	発表者の読む英文を理解し、掲示された英文の意味を正しく理解できる。	仮定法の基本的な形を理解し、適切に運用している。